



『国内で TOEIC (R) テスト 990 点 ～留学しなくても英語力は伸ばせる!』

金井さやか・著 (中経出版) より

はじめに

「本当に、日本にいながらにして、TOEIC990点を取れるの？
帰国子女でもなく、留学もしていないのに？」これは私がよく受ける質問の一つです。

TOEICを受けたことのある人、またこれから受けてみたい人にとって、990点(満点)というのは未知の領域、ちょっとのぞいて、できれば行ってみたい世界ではないでしょうか。そのスコアを取った人間は「珍獣扱い」です。

本書では、日本国内で英語力を伸ばした秘密や今すぐ取り入れられる学習法を公開しています。さらに、TOEICで無理なく990点を取れるようになる「習慣」を分析し、公開した日本で初めての本でもあります。あなたが今TOEIC300点でも、900点でも、必ず役立つ内容を盛り込みました。

「TOEICなんて別にいいじゃない、ただのテストだし。そんなの受けなくたって、満点取らなくたって」という思いは今でも持っています。TOEICの旧形式・新形式両方で990点を取った今でも、英語を使っていると自分に足りない点が見えてきて、「まだまだこんなものか」と思ってしまいます。

ただ、900点を越えたあたりから周りの人の反応が変わってきたのを覚えています。英語ができる人として責任ある仕事を任されたり、その期待に応えるために少しがんばってみたり、「英語ができるモード」への好循環に入っていくのです。そうすると、海外に友人ができたり、国をまたいで仕事ができたり

するので、人間関係の幅もグンと広がって楽しくなってきました。英語でコミュニケーションを楽しめると、国境を越えて異性からも同性からもモテます。

旅行をしても、居心地のいい場所が増えます。現地で世代を超えて素敵な友人に出会えますし、英語を使う地域では、言葉が分かるので恐怖心がなくなります。それどころか、英語で冗談を言い合って笑ったり、現地の人によくしてもらえたりして、得をすることがたくさんあります。職場で英語やTOEICのスコアが必要な人は、昇進や海外出張のチャンスを勝ち取ることができます。

私はTOEICマニアではありません。ですから、本書は問題分析やテストで正解を見つけるテクニックに終始した本ではありません。テストの問題傾向はつかんでおくべきですし、役立つ書籍などもご紹介します。でも、小さなテクニックに踊らされることなく、基本となる英語力をつけた上で、テストにも強くなる方法をお話していきます。あなたがその気になれば、本書に書かれた方法を実践して「日本人のトップ1%」に入る英語力を身につけ、「英語を使いこなせる感覚」をつかむことができます。TOEICテストでいえば、ちょっとしたミスはあっても実力で毎回満点近くを取れるレベル、さらにその先のレベルへと案内していきます。

大金を使って教材を買い込んだり、忙しい毎日のなか英語学校に通ったりすることなく、日本にいながらにして、日常生活の中で無理なく英語を取り入れて実力アップをすることは可能です。「著者の個人的な体験談」のみであなたがとてもまねで

きないような内容ではありませんので、ご安心くださいね。

私は子どもから大人、さらには英語の先生までを対象に、英会話から受験英語まで指導をしてきました。本書は今日からスタートすることができる実践ガイドで、これまでの経験の中で効果が出たノウハウが詰まっています。「評論家」ではなく、「英語ができるようになりたい」という気持ちを持った「実践家」として、結果が出るのを楽しみにしながら、ワクワク感を忘れずに進んでみてください。

冒頭に挙げた質問は、私が日本人から聞かれるものですが、さらに「TOEIC990点の人は、英語がどんなふう聞こえているの？」ともよく聞かれます。その答えもこの本の中に書きました。

海外に出てネイティブスピーカーからとてもよく聞かれる質問があります。“Where did you learn English?”（どこで英語を身につけたの？）それに対する私の答えは、いつも自信を持って“Mostly in Japan.”（ほとんどは日本国内で）です。留学経験なしの、帰国子女でもない私にもできました。

TOEIC990点はゴール地点ではありません。でもここまでの英語力をつけると、できること、いいこともたくさんあります。あなたもその世界をのぞいて、その手につかんでみませんか？ ここから先、私があなをガイドします。さっそく一歩を踏み出し、そのドアを開けてみましょう！

2007年9月 金井さやか



次は書籍本文でお会いできることを楽しみにしています！

[『国内でTOEICテスト 990点』をオンラインで買う](#)

(↑上記をクリックしてください)